

植物多様性センターの「地衣類のススメ」

冬芽とロゼットだけでは物足りない方、趣向を変えて樹木の幹や岩についての地衣類を観察するのはいかがでしょうか？地衣類はコケとは名が付きますが、藻類と菌類の共生体です。身近な都会の公園でも見つけることができます。本来、正確な同定には薬品や顕微鏡などが必要ですが、ここでは学習園内の自生種をいくつかご紹介します。情報館には図鑑もありますので、外での観察の後は、暖かな室内でじっくり学習してみてくださいはいかがでしょうか。



ロウソクゴケ:かつてヨーロッパで蝋燭の染色に使われた



ヤマトキゴケ:木の枝のように発達した先に黒い子器がつく



ヒメジョウゴゴケ:子器をつける子柄の先が漏斗状になる



ヘリトリゴケ:丸い子器のふちが黒く縁どられるのが特徴